



「父母は心のステーション！」

親子の距離感を大切に！」

心のステーション

成長するにつれて子どもたちは外に目を向けるようになります。そして、外の世界に関わろうとするようになります。しかし、外の世界ではうまくいかないことがたくさんあります。不安になったり、悲しくなったりします。そんな時、子どもたちはお父さんやお母さんの所に帰って心の安定を得ようとします。お父さんやお母さんがそばに居ることを確認して元気を回復します。そして、もう一度外の世界に向かうのです。お父さんとお母さんは子どもたちの心のステーションです。どうぞ、安心感を与えてやってください。

親子の距離感

お父さんとお母さんは心のステーションなのですが、居心地がいいからといっていつまでもステーションに留めていてはいけません。心が安心したら次の活動に旅立たせなくてはなりません。子どもはくっつきすぎると甘えてしまいます。反対に離しすぎると自分の気持ちを表現しなくなってしまいます。世のお父さんやお母さん方は絶妙なさじ加減でその調節をやってのけます。誰でも天才です。子どもの表情や様子などから、くっついたり離したりして心の成長に必要な距離をとっているのです。ただし、失敗する事例があります。それは、子どもが喜ぶからといって、テレビやビデオ、そしてゲームに子育てを任せっきりにした場合です。人を人に育てられるのは人だけです。電子機器に任せると人が電子機器に育ってしまいます。たくさん遊んで、たくさん関わって、子育てを楽しんでいただけると嬉しいです。



(文責 園長 石井 一彦)

6月のねらい

- ☆身近な植物にふれたり、梅雨期の自然現象に関心をもったりしながら、友だちとの関わりを楽しむ。
- ☆健康や安全に必要な生活習慣や態度を身につける。
- ☆身近な地域の人や、他園の友だちとの交流を楽しむ。

